

つながりからはじまる笑顔のおてつだい

まごころ

災害特集
vol.8

オストメイトと災害



がんばれ
熊本!



被災者インタビュー

大地震から 学んだ大事なこと

災害時、慌てないために

緊急連絡用の備忘録 点線で切り取り、4つ折りにして財布の中に保管してください。

名前		連絡先 ☎
住所		
ご使用中の製品		
製品番号	製品メーカー	製品名
緊急連絡先		
装具購入先	連絡先 ☎	
病院名	連絡先 ☎	
使用装具メーカー名	連絡先 ☎	
まごころ事務局（株式会社 ホリスター）	連絡先 ☎ 0120-696-017	
親族・ご友人 名前	連絡先 ☎	

災害時に備え

携帯電話番号とメールアドレスをご登録ください。

ご登録先

株式会社 ホリスター **まごころ** 事務局 〒140-0002
 東京都品川区東品川2-2-8 スフィアタワー天王洲21F

TEL  **0120-696-017** | FAX **0120-922-610**
受付時間: 10時~17時(土日祝日を除く)

 メールアドレス **start@Hollister.co.jp**

聞きたいことを聞く、知りたいことを知る、仲間とつながる

まごころ でかなえてみませんか? **会費無料**

いつでも気軽に
電話でご相談

仲間とつながる会報誌
『まごころ』

最新情報配信メルマガ
『まごころ』通信

入会に関するお問い合わせは上記のご登録先まで。



水の大切さ、トイレの大変さ、 安否確認の難しさを改めて感じました。

装具の手持ちはたった二枚

四月十六日未明に、熊本地震の第二震が発生。十四日に起きた第一震より大きく、室内は食器棚やタンスが倒れ、窓の強化ガラスも外れるほどでした。消防より避難指示が出たものの、暗闇の中に物が散乱した状態。懐中電灯一つと、毛布だけを持って避難しました。装具は見積もりだけ取って、まだ購入していないタイミングだったので、手持ちは二枚のみ。幸い、益城福祉センターで救援物資を配布しているというのを、病院や販売店の方から伺い、救援物資をいただくことができました。今回の事で自分自身、装具の備えがなく、非常に心許ない思いを味わいました。装具は玄関など、持ち出しやすい場所に複数置いておくことが、非常に大切だと身を以て感じました。

避難所生活をしながら、オストメイト会員の安否確認

その後、二週間ほど避難所生

熊本地震で被災されたオストメイト関係者から伺った

大地震から 学んだ大事なこと

2016年4月に発生した熊本地震。これまで九州は地震が少ないと思われていたため、大地震が起こるなど、思いもよらなかったと言います。しかし災害はいつ、どこで起こるかわかりません。もし、自分の身に起こったら…。

今回は日本オストミー協会熊本県支部長をはじめ、オストメイトと販売店の方々が実際経験した震災のお話や災害時の心がまえについて特集します。いざという時、自分たちには何が必要か。今一度、考えてみてはいかがでしょうか。

活を送りました。支部長自身が被災者になったことで、会員の安否確認や、被害の状況把握が怠ってしまい、非常に心苦しい思いでした。自ら運転して避難所を回りましたが、個人情報保護の観点から、確認がなかなか取れません。オストメイトから申し出があったら、自分宛に連絡をいただけるようお願いし、名刺を置いて次の避難所に向かいました。安否確認は、固定電話しかご登録がない場合、不通になったら連絡の取り方がなくなってしまうので、携帯番号も登録しておいていただくことが重要です。

また、介護を受けられている方は、ヘルパーさんが被災者になつたら訪問を受けられなくなります。その場合どうすべきかなど、予め対策を練っておくことが大切だと思います。

熊本地震を通して感じたこと

被災を通して痛感したのは、水の大切さ、避難所でのトイレや装具交換の大変さ、そしてオ

ストメイトの方の安否確認の難しさでした。

私達オストメイトには、飲料水以外にストーマ周りの洗浄や、排泄物をトイレに流すなど、生活用水の確保は欠かせません。さらに、ウェットティッシュがあるとうれしいですね。

トイレに関しては、障がい者用トイレが一つありましたが、他に車椅子の方が数人いたため遠慮していました。洋式トイレもありましたが、ずっと中腰でいるわけにはいかず、小さな椅子でもあったら…と思いました。

色々と予測される事態に対して、個人個人の心構えが必要だと感じたとともに、行政にもオストメイトの把握に努めていただけるよう、今回の地震で感じたことを要望として県に提出します。



公益社団法人
日本オストミー協会
熊本県支部長

前田 勝さん

オストメイト に インタビュー

身を以て経験した熊本地震を オストメイトに伝えたい

販売店 に インタビュー

販売店の視点から オストメイトに必要なこと

備えは複数箇所に必要だと思いました。

西濱 亮介さん(お子様がオストメイト)

震災により、家は物が散乱し、足の踏み場もない状態に。一旦は避難所に行きましたが、トイレの混雑がひどく、子どものケアが難しいと判断。幸い建物が無事だったため、翌日は私の経営する歯科医院へ移りました。

被災時は水がなかったのですが、医院にウエットティッシュの在庫がありました。おかげでストーマの交換時は、周りをきれいにすることができたのです。器具は在庫を持ち出すことができず、手持ちは一枚のみ。ちょうど注文していたものを、販売店さんが歯科医院へ届けてくださり、非常に助かりました。でも、もし販売店が営業していなかったら…、販売店の連絡先がわからなくなってしまったら…。病院は、重篤な患者さんでてんてこ舞いだったという話を聞きます。そんな中「ストーマ器具をください」とは聞きにくいものです。予備のものは、親戚や友人の家なども含め、複数置いておくように思いました。

大切なのは、 日頃の準備と、人とのつながり。

廣重邦子さん

心強かったのは、
簡易トイレの備え

私は熊本県北部の山鹿市在住です。地震直後は、固定電話も携帯電話も通じませんでした。幸い震災の被害は比較的少なく、避難所に行くことはありませんでした。器具も一ヶ月分ほどストックしておいたため、特には困らなかつたです。でも、いつまた大きな余震がくるかも知れず、器具は常に持ち出せるよう準備しておきました。数年前から用意しておいた防災グッズの中には、嬉しいことに簡易型携帯トイレが入っており、これはいざというときに心強いなと思えました。

連絡をいただき、安心しました

オストメイトであることは、他の人にあまり知られたくないと思っていました。しかし今回、JOAの前田支部長からご連絡をいただいた際にはホッと思いました。気になったのは、甚大な被害を受けられた他のオストメイトの方たちのこと。人と人とのつながり、ネットワーク、行政からの素早い対応が何よりではないかと感じましたね。

有限会社キムラ 白石さん

被災された皆さまの
所在確認が困難でした



震災後、お客様ひとりひとりに連絡を取らせていただきました。固定電話の登録がほとんどで、避難されて所在がわからないなど、皆さまの無事を確認するのが非常に困難でした。避難所では、情報収集や器具交換場所確保のため、オストメイトであることを、救護班の方などに申し入れるよう伝えさせていただきました。きつと様々な事情があると思います。被災時は連絡手段が限られますので、どうか声を上げていただきたいと思います。また、避難所の掲示板は必ず確認して欲しいです。連絡先など、大切な情報が貼ってあると思います。

ご使用の製品名は
控えておくと安心

お問い合わせの際に、ご使用の製

品名、製品記号を覚えていらつしやらない方もいました。幸い、データベースはダメージがなかったので、注文履歴からお調べできましたが、いざという時のために、製品名、製品記号を覚えておく、控えておくことをおすすめします。携帯電話で、製品の製品記号がある部分を撮影しておくのもいいですね。大きな震災時は、病院も販売店も誰かがどうにかしてくれるという期待が持ちにくいのです。ぜひご自身でご準備、心構えしていただければと思います。

スマート株式会社 岩満さん

自らSOSサインを
出す勇氣



私たちは福岡県にある販売店です。支援物資を車に載せ、災害直後の販売店に運びました。被災されている方々が自ら被災者の支援をされていることから、全体の把握をするのが非常に困難で、SOSのサインや連絡がとれた順に届けることが精一

杯でした。支援物資は沢山あるのに、避難されている場所が特定できないので、とても辛い気持ちになりました。電話やメール、SNSなどのツールも有効な手段ですが、まずは「私はここにいます、〇〇がすぐに必要」のサインを、隣人や災害支援チーム、親兄弟などに出さないと、支援物資は届かない状況があります。緊急時は自らSOSのサインを…。

株式会社八尾日進堂 河合さん

オストメイトとの連絡
方法は、今後の課題



水がないなど、オストメイトにとって非常に大変だったことでしょう。器具はもちろん、ケアに必要なものと一緒にご準備しておいた方がいいと思います。避難所では、プライベートな空間を確保できず、器具の交換などためられ、車中で過ごされる方も多かつたようです。そのようなオストメイトの方々と、どのように連絡を取るべきか考えられました。

災害時のストーマ用品無償提供制度

災害救助法適用の市町村内被災ストーマ保有者で、家屋の倒壊等によりストーマ用品の持出しや入手が困難な方が対象です。

期間

緊急時(災害発生から約1ヶ月間)において、ストーマ用品を無償提供

受け取り方法

いつもご利用の「ストーマ用品取扱店」へ
ご使用の製品名、製品番号を伝えてください。

無償提供品対象メーカー

アルケア/イーキン/コロプラスト/コンパテック/ソルブ/ダンサック/ホリスター/村中医療器

今年四月に発生した熊本の震災から二カ月が経った六月半ば、すでに真夏のように蒸し暑い熊本へ行ってまいりました。前震、本震と二回発生した大地震の爪痕は大きく、コンクリートがパッキリ割れていたり、鉄骨が根元から曲がっていたり、想像以上の被害だったのだとショックを受けました。そして今回、まだ大変な状況の中で「自分たちの経験が他のオストメイトや地域の方々への心構えとして役立つなら」と、被災されたオストメイトや販売店の方々が早くインタビューに応じて下さいました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

災害時は、水や電気、ガス、電話などのライフラインが停止することがあります。復旧までどれくらい時間を要する

編集後記

まごころ事務局より



災害時、慌てないために

日頃の備え

装具類

1ヶ月分備蓄



数カ所に保管

自宅

近県のご親戚

ご友人宅

洗浄用品も備蓄



ご注意

使用期限を定期的にチェックし、新しく購入したものと在庫を入れ替えてください。
保管場所は、高温・多湿を避けてください。

情報を携帯する

製品

製品名

製品番号

製造メーカー

販売店

販売店名

電話番号

ストーマ外来

病院名

電話番号

※本誌8ページの「緊急連絡用の備忘録」をご活用ください。

連絡手段の確保

固定電話



携帯電話



メール



SNS



災害が起こったら

自身の安全を確保することが最優先

ストーマ装具を持ち出せなくても避難を優先!

災害時のストーマ用品無償提供制度があります(左ページ参照)。

自ら行動する

ストーマに関する情報を入手

テレビ

ラジオ

インターネット

避難所の告知

自らSOSのサインを!

オストメイトであることを救護班または医療班に告げ、必要なサポートを受けられるようにする。